

# Handbook

Sample



フィリピン留学なら  
セブ島留学センター

## 目次

## 【出発前の準備】

- (1) 航空券
- (2) 費用のお支払い
- (3) 海外旅行保険
- (4) 持ち物準備

## 【出発3日前～の準備】

- (5) e-Travel 登録

## 【出発日以降の準備】

- (6) 在留届

## 航空券の準備

準備のタイミング ▶ なるべく早く

留学日程に合わせて、航空券のご準備をお願いいたします。日程はご予約完了時のメールからご確認いただけます。航空券取得を弊社経由でご希望の場合、担当者までご相談ください。ご自身での準備をご希望の場合は、航空券を確保次第「到着日時」をお知らせください。入国には「30日以内」にフィリピンを出国する航空券も必要です。

## 費用のお支払い

ご登録後、1週間以内に2万円（一部金）のご入金をお願いしております。総額から2万円を差し引いた残額は、渡航「30日前」を入金期限とさせていただきます。詳しくはご予約確認書、またはご予約完了時のメールをご参照ください。

## 海外旅行保険のご加入

準備のタイミング ▶ 出発日まで

留学中の病気や事故、物を紛失した際に役立つのが「海外旅行保険」です。コロナ禍においては、新型コロナウイルスの感染治療に対応した旅行保険の加入が推奨されています。

弊社では、大手旅行会社JTBグループ「ジェイアイ損害」の留学保険をご案内しております。詳しくは「8ページ」または弊社からの案内メールをご確認ください。

## ワクチン接種証明書

不要

2023年7月21日以降、フィリピン入国時の「ワクチン接種証明書」「陰性証明書」の提出は不要となりました。以下のページにて、最新情報についてご案内させていただきます。

## ● フィリピン・セブ島の入国条件（観光・商用・語学留学）

[https://www.ryugaku-onebridge.com/d/immigration\\_restrictions](https://www.ryugaku-onebridge.com/d/immigration_restrictions)



手荷物に入れることをオススメするもの		
✓	持ち物	ワンポイント
	パスポート *	必要な残存期間はフィリピン入国日から6ヶ月。残存期間に余裕がない場合、現地延長を検討している場合は、事前更新をおすすめ
	ワクチン接種証明書	フィリピン入国時は「不要」 フィリピンの前後に他国を訪れる場合、その国の最新情報を要確認
	入学許可証 *	学校から公式発行された入学許可証 ※要印刷
	往復航空券 *	片道航空券のみでは入国不可（30日以下の滞在であっても） 航空券予約時の予約確認書（Eチケット）は印刷必須
	片道航空券（捨てチケット）	フィリピンの合計滞在期間が「31日以上」の場合、 30日以内にフィリピンを出国する航空券が必須（= 捨てチケットの利用が一般的）
	海外旅行損害保険証 *	旅行保険の契約後に発行される付保証書もお忘れなく。電子データは印刷推薦 クレジットカード付帯保険：付保証書の発行が可能かどうか、カード会社に確認
	学校の連絡先と住所 *	e-Travel の記載に必要 学校と代理店の情報（住所と連絡先）を事前にまとめてご家族にも共有しておくこと
	滞在先の予約確認書	前入りの理由などで、ホテルの宿泊予約を伴う場合 予約時の確認書 ※要印刷
	空港送迎の情報	空港送迎サービスを利用の場合、連絡先や集合場所が記載された書類またはメール
	現金 *	現地で支払う費用 + 当面の生活資金（お小遣い） 現地空港や市内での両替がおすすめ。日本でも1万円ほど両替しておくこと安心
	クレジットカード *	Visa・Mastercardの取り扱い店が多く、最低1枚の持参をおすすめ 身分証明書として使えることも
	国際キャッシュカード	6ページ目参照
	国際運転免許証	運転免許証をお持ちの方であれば、即日で国際運転免許証の発行が可能 ただし生活移動の基本はタクシー、レンタカーや車を購入する機会はほぼなし
	スマートフォン *	SIMロックがかかっていないスマホの持参をおすすめ 日本での契約を止めておく場合は通信キャリアに相談
	SIMカード	7ページ目参照
	ノートパソコン	ライティング、リスニングの自習時に便利 コロナ感染時のオンライン授業参加のため、ノートPCまたはタブレットの持参推奨
	USBメモリー	必要な場合
	電子辞書	現地では日本語対応のものをご購入しにくい場合持参をおすすめ スマホの場合、オフラインで使えるアプリをおすすめ
	筆記用具 *	税関申告書等の記入に備えて、手荷物の中に入れておくこと
	予備用マスク	万が一、紛失した時のための予備用マスク
	アルコール消毒液	手指消毒用のポケットサイズが便利
	ポケットティッシュ	フィリピンのトイレにはティッシュの備付けがないことも

\* 持参必須

フィリピンの日常生活では、タクシー利用や食事の割り勘など、まだまだ「現金」が重宝します。レストラン、ショッピング、ホテルでは、クレジットカードの利用も可能です。外出時に多額の現金を持ち歩くことは避けましょう。

## 現金の準備方法

### ● 学校の現地費用

フィリピン留学には、学校到着後にお支払いいただく費用（SSP・光熱費・教材費等）があります。多くの場合、フィリピンペソでのお支払いとなります。詳しくは予約確定時のご請求書や見積書をご参照ください。日本円でご持参いただき、現地での両替が可能です。目安の為替レートを事前にご確認ください。

### ● 生活費（お小遣い）

1ヶ月の生活費（お小遣い）の目安は 20,000円～60,000円程度です。外食や旅行の頻度が高いと出費が増えます。帰国時に空港まで交通公共機関（タクシー・バス等）をご利用の場合、別途費用がかかります。現金を残しておくことにもご留意ください。

## 両替

「日本の空港」「現地の空港」「現地の市内」で、フィリピンペソへの両替ができます。現地レートがよいことが多く、空港では入国審査後のロビーに両替所があります。市内の両替所はさらにレートがよいことがあるため、日本での両替は最低限にしておき、後々の両替がおすすめです。20ペソ、50ペソ、100ペソの小さい通貨が便利です。

## 現金以外の準備方法

### ● キャッシュカード（日本の銀行）

海外対応のキャッシュカードを使用し、現地ATMから現金を引き出すことができます。海外ATMネットワークである「Cirrus」や「PLUS」のマークを確認しましょう。すべてのATMに対応しているとは限らないため、別の方法と組み合わせた利用がおすすめ。利用限度や海外パスワード設定にも注意が必要。事前に金融機関にご確認ください。

### ● クレジットカード

レストラン、ショッピングモール、ホテルなどでは、クレジットカードやデビットカードの利用も可能です。日本で発行した「VISA」や「Mastercard」も利用可能なため、最低1枚はクレジットカードを持参するのがおすすめです。買い物のみならず、航空券のネット購入時や身分証明書としても役立ちます。

### ● 海外プリペイドカード

Mastercardの「キャッシュパスポート」、アプラス（新生銀行グループ）の「MoneyT Global」など、留学生向けの海外プリペイドカードがあります。引出しの手数料はかかりますが、発行手数料は無料のため、長期留学の方には人気があります。

## STEP 5 入国審査

入国審査カウンターに進み「パスポート」や「出国用の航空券」等を合わせて提示します。入国審査官からフィリピンへの訪問目的、滞在期間などを聞かれることがあります。

### ● 入国審査での主な質問と回答例

- (1) フィリピンに来た目的 (What is the purpose of your visit?)  
 解答例: To study / To study English (留学) / For sightseeing (観光目的)
- (2) 滞在期間 (How long will you be staying in Philippines?)  
 解答例: For 3 months. (3ヶ月です)
- (3) 滞在場所 (Where will you be staying?)  
 解答例: 学校名 / ホテル名

すぐに答えられるように「学校名」や「学校住所」のメモを用意しておきましょう。

最後にカウンターにある指紋の読み取り機で指紋登録、カメラで顔写真を撮影し入国審査が終了です。

## STEP 6 荷物の受取り

入国審査後は「Baggage Claim」の案内板に従って「荷物受取所」に向かいます。搭乗機の便名が表示されたターミナルへ向かい、事前に預けた荷物を受け取りましょう。

万が一、荷物が見つからない場合は、空港スタッフにバゲージクレームタグ（荷物を預けた際に受け取った控え）を見せて、確認してもらいましょう。荷物に破損等があった場合も（税関を通る前に）すぐに空港スタッフに伝えるのがおすすめです。税関を出た後、破損に気付いても対応してもらえないことがあるためです。

第3国やマニラ空港を經由 ▶

經由空港で荷物を一度受取る場合と直行の場合があります。日本出発前のチェックイン時に確認しておきましょう。

## STEP 7 税関申告

荷物の受取りが完了したら「税関」へ向かいます。税関では、関税のかかる物や、持ち込みの禁止されている物がないかを確認しています。機内で配られた記入済みの「税関申告書」を職員の方に渡しましょう。

フィリピンへ持ち込める免税範囲	
外貨: US\$10,000 相当額以上は要申告	紙巻タバコ400本
現地通貨: 50,000 ペソ以上の持ち込みは許可必要	または葉巻50本、または刻みタバコ250g ※18歳以上
海外製品: US\$350 相当以上は課税	酒類2本 (各1リットル以内) ※18歳以上
持ち込み禁止 (銃器、爆薬、弾薬、麻薬、薬物、貴金属、ギャンブル品、猥褻物、レプリカ品など)	

セブ島留学センターでは、安心できる  
留学準備のため、**留学ガイドブック**を、  
ご自宅宛に**郵送**でお送りしております。

その他にも様々な**特典**をご準備しており  
ます。



フィリピン留学なら  
セブ島留学センター